

「もっともっと」販売手段を広げる

インターネットを活用したネットショップ(ECサイト)で全国各地への販売チャンスを広げることができます。

『ECサイト』を活用したい

💡 ネットショップの作り方は2種類

1 「楽天市場」や「Yahoo!ショッピング」などの『ネットショッピングモール』に出店
⇒ 長所：テンプレート利用で、短期間で出店可能
⇒ 短所：月々のランニングコストが高い

2 会社独自の『ネットショップ』を作る
⇒ 長所：自由に作り込み、詳しい商品情報の提供が可能
⇒ 短所：作っただけでは顧客が集まらないため、ある程度の宣伝広告費をかける必要がある

選 NIPPONSELECT ニッポンセレクト

商工会員は「ニッポンセレクト.com」がおすすめ！
お得な「会員特典が4つ！」

- 会員特典① **出品料【無料】**… 出品に関する申込み費用はかかりません。
- 会員特典② **商品撮影【無料】**… 専門のカメラマンとライターが商品を撮影し魅力を引き出します。
- 会員特典③ **物流費【無料】**… 物流会社から配達伝票を作成して送付手続きに対応。(配送料別)
- 会員特典④ **決済代行【無料】**… 決済手続きは全て運営事務局代行のため、安心して効率的。



『アンテナショップ』を利用したい

公的機関が地域特産品の販路拡大を目的に主に首都圏に設置しています。秋田県では、東京や福岡県に開設していますのでぜひご利用ください。

名称	所在地	申込先	販売支援の活用等
むらからまちから館	東京都千代田区	最寄りの商工会	お申込方法などを商工会が相談支援
あきた美彩館	東京都港区	秋田県観光文化スポーツ部秋田うまいもの販売課	秋田県産品テスト販売制度を活用
みちのく夢プラザ	福岡県中央区	秋田県観光文化スポーツ部秋田うまいもの販売課	北東北合同販売、販売イベントを実施
秋田ふるさと館	東京都千代田区	株式会社 秋田県物産振興会	秋田食のチャンピオンシップ 出展商品へ応募可能
東北産直プラザみちのく屋	愛知県名古屋市中区	株式会社 みちのく屋	各県の特色を活かしたイベントを開催
ニッポン4県物産展	大阪府大阪市	株式会社 大阪市開発公社	福井・鳥取・熊本県の物産と合わせて販売

『物産展・商談会』に出展したい

民間企業主催や公的機関が主催する出展費用の負担が少ない物産展・商談会も毎年全国で開催されています。次の商談会は一例ですが、販路拡大の場としてご利用ください。詳細は相談・窓口先へお問い合わせください。

開催時期	名称	場所	内容	相談・窓口
平成29年11月	秋田広域商談会	秋田ビューホテル	製造業者を中心とした受発注商談会に県内企業であれば無料	あきた企業活性化センター (電話018-860-5610)
平成29年11月	ニッポン全国物産展2017	池袋サンシャインシティ展示ホール	食品を中心とした地域産品の物産展で、出展料は無料。昨年は3日間で約15万人の来場者	最寄りの商工会まで (事業者の出展は募集終了)
平成29年11月	和食産業展2017	東京ビッグサイト	国内外で需要の高まる和食や関連する飲料、厨房設備などの商談会	(一社)日本能率協会 (電話03-3434-3453)
平成30年 3月	FOODEX JAPAN2018	幕張メッセ	アジア最大級の食品・飲料専門展示会で、昨年は約3千社の出展、4日間で約8万人の来場者	

📢 物産展等に出店し、新たな販路獲得につながった事例

- 事業者：株式会社MKpasoワイナリーこのはな(三ヶ田美香子さん)(かつの商工会女性部)
- 成果：豪華クルーズトレイン「トランスイット四季島」へ商品採用・販路拡大
- 内容：商工会女性部から紹介されてJR東日本主催「チャレンジマルシェ」へ出店したのがきっかけです。当初、売上が上位事業者への特典である首都圏催事で販売できる権利獲得に向けた積極的な商品PRを目的に取り組んでいる中、上野駅での産直市へ参加し、自社商品の「鵜ワイン」の豪華クルーズトレインで使用する商品の採用につながりました。



鵜ワイン

企業経営にプラス^{plus}するワンポイント情報誌

あきた Biz^{plus}

秋田県商工会連合会報
Akita Prefectural Federation of
Societies of Commerce and Industry

2017
September
Vol.524

販路拡大
連載号[7・8・9月]



株式会社羽後麦酒では、羽後町産地ビールの開発に一から取り組み、丹精こめて醸造し、自社のfacebookや「道の駅うご」のfacebookと連携した情報発信を活用して積極的に宣伝しています。初めて「道の駅」で販売した商品は、大行列となり、わずか7分で完売となりました。



三種町商工会が支援している「じゅんさい加工業者組合」が出展した首都圏商談会「秋田のおいしい食材商談会」にて、特産品である三種町のじゅんさいをPR。

当日は、バイヤーとの商談が成立するなど、問い合わせも多く、新規販路拡大につながりました。

販路拡大に取り組む事業者は、新事業への取組やデザイン・商品企画、情報関連業務など、人員不足が原因で思うように取組めず、外部委託が必要な業務が増加している現状にあり、この解決には専門家等の支援が必要になっています。

商工会では、事業者の販路拡大の取組を支援し、販路拡大に向けた支援策を充実するとともに、事業者の相談内容に応じた段階的な支援を実施します。また、このところ新たに注目されている商品づくりや販売・宣伝方法について、専門知識が必要な取組については商工会専門家派遣を活用し、外部機関との連携を含めた支援をします。

今回の特集号では、販路拡大に向けた「売れる商品をつくる」「商品・お店を知ってもらう」「販売手段を広げる」の7月号で取り上げた3つのポイントに沿ってより具体的な進め方をご紹介します。

地域市場が縮小傾向にある中で、地域の外に広く販路を見出していくため、商工会は、これまで取り組んできている販路拡大支援策について今後さらに事業者の相談内容に合わせた事業者目線に立った支援を充実していきます。ともに新しい可能性にチャレンジしましょう。

「もっともっと」売れる商品をつくる

売れる商品づくりの進め方、具体的な方法、商工会などの支援機関が実施している事業がありますので、積極的に活用しましょう。

新しい商品の開発、既存商品の改良など売れる商品づくりをしたい



相談・窓口

① 秋田県産業労働部産業政策課	☎ 018-860-2215	https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/30
② 秋田県観光文化スポーツ部秋田うまいもの販売課	☎ 018-860-2258	https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/uma
③ 秋田県農林水産部農業経済課	☎ 018-860-1771	https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/noukei
④ あきた企業活性化センター	☎ 018-860-5610	http://www.bic-akita.or.jp/index.html
⑤ 秋田県総合食品研究センター	☎ 018-888-2000	http://www.arif.pref.akita.jp/
⑥ 秋田産学官ネットワーク	☎ 018-860-1262	http://www.collabo-akita.net/index.php
⑦ 最寄りの商工会または秋田県商工会連合会	☎ 018-863-8493	http://www.skr-akita.or.jp/

商工会で支援した事例

あわびの里づくり事業(白神八峰商工会)

地域観光・認定グルメ開発・販売支援!

- 支援の経緯⇒ 平成18年、全国展開支援事業を活用し、あわび資源の回復と観光企画として実施
- 現状と成果⇒ あわびの陸上養殖をしている日本白神水産(株)を、小規模事業者持続化補助金等で支援、御当地あわびを使用した認定グルメ商品の取組など、現在、9種類のあわび商品の販売を実施し、地域振興と事業者の販路拡大を支援している。



あわび認定グルメ

じゅんさい事業(三種町商工会)

組合等と地域連携・販売・育成支援!

- 支援の経緯⇒ 平成19年「じゅんさい鍋倶楽部」、平成21年「じゅんさい加工業者組合」を設立し、地域特産品であるじゅんさいの産業育成に向けて地域や行政と一体となり取り組んでいる。
- 現状と成果⇒ 9社の事業者がじゅんさい商品販売を実施。「森岳じゅんさい加工業者組合」と商工会が商品のブランド力向上や販路拡大に向けて、秋田県の「秋田発ジャパン・ブランド育成支援事業」を活用し取り組んでいる。



じゅんさい

鱈しよっつの事業(にかほ市商工会)

特産品・地域内統一メニュー開発支援!

- 支援の経緯⇒ 平成21年度より「鱈」を統一食材として地域外からお客様を誘客するために開始
- 現状と成果⇒ 地域内商工業者が主体に、20事業者が参加、21品の鱈しよっつの商品が取り扱われ、新商品開発など地域に広がって、平成27年度より全国展開支援事業を活用し、新たな特産品と地域内の統一メニュー開発に取り組んでいる。

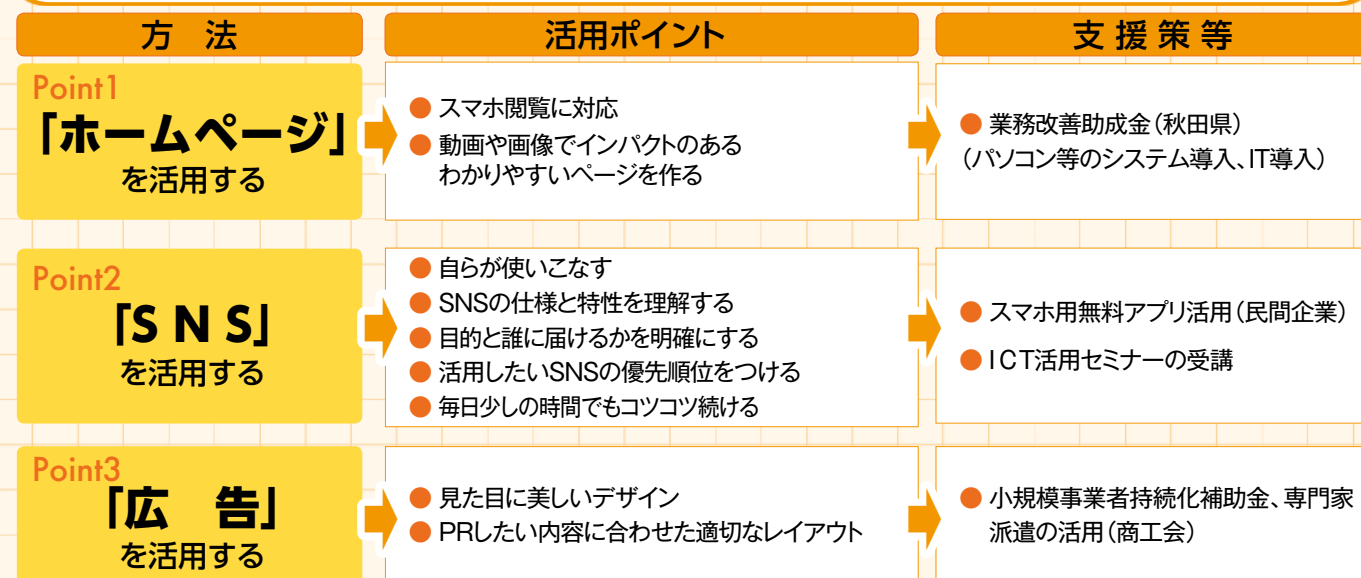


鱈しよっつ
「うわてん」

「もっともっと」商品・お店を知ってもらう

最近新たに注目されている宣伝手法を含め、主に次のようなものがあり、活用することで効果のある宣伝につながります。

新たな宣伝方法や効果的な宣伝をしたい



商工会で支援した事例 事業者：株式会社羽後麦酒(羽後町商工会) 担当：佐藤 洋 経営指導員

1) SNSを活用した効果的な宣伝事例

商工会の専門家派遣制度を活用して、「道の駅うご」のfacebookと連携した商品情報を発信して地元の原料にこだわった地ビールの販売促進につながった効果的な事例です。今後は、スマートフォンで閲覧できる宣伝効果の高いホームページ作成に取り組む計画です。



『メディア』に取り上げてもらう効果的な宣伝をしたい

新聞、テレビ、ラジオ、タウン誌等のメディアから企業情報を取り上げてもらうことも効果の高い宣伝方法の一つです。

メリット

- 記事掲載は無料で、新聞、テレビ、ラジオ、タウン誌等へ掲載されます。
- 集客増・知名度アップ・売上増等の効果が期待でき、大きな宣伝効果を見込めます。

記事のポイント

- 新規性のある話題や事業内容
- 地域性やストーリー性のある独自商品など

発信方法

- 報道機関へは、商工会から情報発信します。メール・FAX・電話で情報をお寄せください。

商工会で支援した事例 事業者：日本白神水産株式会社(白神八峰商工会) 担当：若狭 亮 経営指導員

2) 地域特産品を積極的にPRしメディアに取り上げられた支援事例

商工会の「あわびの里づくり事業」を活用し、地域特産の認定グルメとしてPRしたことがきっかけで多くのメディアに取り上げられた事例です。また、新たな看板設置に対しては補助金の活用支援し、展示商談会の情報を定期的に事業者提供するなどメディアに取り上げられる支援を実施取り組んでいます。



補助金を活用して作った看板

広告

万が一の時に備え、従業員やご家族を守ります

貯蓄 融資 商工貯蓄共済 保障

月々2,000円から

全国商工会 会員福祉共済

月々1,000円から